

ひびき通信

平成 23 年
11 月版

失語症ケアの第一人者・
遠藤尚志さんの「失語症と
ことん勉強会」が十二月四
日（日）に当センターで開

失語症 とことん 勉強会

12月4日開催
講師に
遠藤尚志さん

催されます。
言葉を失った方は何を求
めているのでしょうか？セ
ミナーでは、生活レベルの

失語症ケアを開拓されてき
た遠藤先生から、障害の基
礎知識とかわり方のノウ
ハウを学びます。

「なるほど」「納得」の3時間



三好春樹さんの介護基礎講座に五十八名の方が参加 脳卒中、パーキンソン病、認知症 介護の基本的なノウハウを学ぶ

三好春樹さんによる介護基礎講座がこのほ
ど、当センターで開催されました。セミナー
には介護職の方ももちろん、看護師や理学療
法士、また在宅で介護されている方など五十
八名の方が参加されました。

三好さんの講義に熱心に、
耳を傾け、メモをとる参
加者のみなさん。

この日のセミナーでは、パー
キンソン病の日内変動や障害の
特徴をはじめ、脳卒中によるマ
ヒのレベルの見方、右片マヒ、
左片マヒ特有の障害の現れ方、
認知症の症状からみた分類と特

川崎市による立入確認と実地指導が行われました

指定更新を迎える
グループホーム響

川崎市高齢者事業推進課に
よる、事業指定更新時の立ち
入り確認がこのほど、当セン
ターで行われました。今回の
立ち入り確認は、グループホー

ーム響が開設から来年三月で
六年となり事業指定の更新を
迎えることから行われたもの
です。
立ち入り確認には二名の市

担当者が施設を訪れ、実際の
介護現場を確認。さらに勤務
表など人員に関する書類をは
じめ、ケアプランや業務日報、
さらに請求書類などもつぶさ

に審査されました。
終日にわたった確認作業の
結果、担当者からは、利用者
の立場に立ったきめ細かい
サービスについて評価をいた
だきました。特に非常勤、常

勤の区別なく全員参加のケー
スカンファレンスを実施して
いること。業務日報など利用
者の状態の変化やケアの内容
が細かく記録されていること
などが高く評価されました。



天井にかつ丼

大好物に舌鼓

グループホーム響
お出かけイベント

徴など押さえておきたい基本的
な知識や視点を解説。さらに、
具体的な関わり方についても、
三好さんが介護に携わる原点と
もなった特養での経験に裏打ち
されたエピソードを通してわか
りやすく解説していただきました

受講された五十八名のうち、
二十八名の方が初めての参加。
ユーモアを交えた三好さんの話
に、笑ったり、納得したり、発
見したり、と有意義な三時間を
過ごしていました。

グループホーム響の外出イ
ベントがこのほど行われまし
た。この日は天気も良く、利
用者九名そろってレストラン
へ。天井、かつ丼、握り寿司
にお蕎麦など、自分で選んだ
メニューが運ばれてくると、
利用者たちは目を輝かせてパ
クパク、モグモグ。デザート
のソフトクリームも平らげ
て、全員で「ごちそうさまで
した」。